

## ⑯実用新案公報(Y2)

平5-34303

⑤Int.Cl.<sup>5</sup>

B. 62 D 1/20

識別記号

庁内整理番号

9142-3D

⑩⑪公告

平成5年(1993)8月31日

(全4頁)

⑤考案の名称 ステアリングコラムホールカバー

⑥実願 昭61-136750

⑥公開 昭63-43873

⑦出願 昭61(1986)9月5日

⑧昭63(1988)3月24日

⑨考案者 柴崎 清太郎 愛知県豊田市トヨタ町1番地 トヨタ自動車株式会社内

⑩出願人 トヨタ自動車株式会社 愛知県豊田市トヨタ町1番地

⑪代理人 弁理士 岡田 英彦 外3名

審査官 溝渕 良一

⑫参考文献 実開 昭59-192482 (JP, U) 実公 昭57-41081 (JP, Y2)

1

2

## ⑤実用新案登録請求の範囲

ステアリングメインシャフトの径よりも大径の貫通孔を有するホールカバー本体と、同じくこのメインシャフトがステアリング操作に伴う軸芯回りの回転可能なシール性をもつて挿通される合成樹脂製のシール体と、前記メインシャフトに対して回転可能なシール性をもつて接触するように前記シール体に取り付けられたゴム製のシール部材とを備え、このシール体をホールカバー本体に対して前記の貫通孔を閉塞した状態で、この貫通孔の半径方向へ移動できるように組付けたことを特徴とするステアリングコラムホールカバー。

## 考案の詳細な説明

## (産業上の利用分野)

本考案は、車両のダッシュパネルに形成されたコラムホールとステアリングメインシャフトとの間を被覆するステアリングコラムホールカバーに関する。

## (従来の技術)

従来よりこの種のステアリングコラムホールカバーとしては、例えば実開昭57-120162号に開示されているようにダッシュパネルのコラムホールとステアリングメインシャフトとの間を、比較的剛性の高い素材よりなるカバーボディでおおつた構成のものがある。この構成においては、上記のコラムホール側に対するステアリングメインシャフトの組付け位置が、各部の寸法公差等によつて正規

の位置から偏位した場合に、カバーボディがその偏位を吸収できず、極端な場合にはカバーボディの組付けが困難となる。

そこで、この対応策として第2図で示すように5 カバーボディCをゴム等の弾性素材で形成し、かつステアリングメインシャフトSとの接触部の近傍に蛇腹状部分C1を形成したものが提案されている。

## (考案が解決しようとする問題点)

第2図に示すカバーボディCにおいては、ステアリングメインシャフトSがその組付け時に正規の位置から偏位している場合でも、蛇腹状部分C1が変形することによつてその偏位を吸収できる。しかしながら、その反面において蛇腹状部分10 C1の変形によつてステアリングメインシャフトSとカバーボディCとの接触部の摺動抵抗が高くなり、操舵感覚が悪くなるだけでなく、車両の操舵安定性にも悪影響がある。

また、ステアリングメインシャフトSとカバーボディCとの間のシール機能は、このカバーボディC自身によってなされているため、上記の蛇腹状部分C1が変形することによつてシール性も不十分となる。

さらに、上記の蛇腹状部分C1の変形機能はその部分の厚さが増大するとともに低下するため、その厚さをあまり大きく設定することはできない。従つて、エンジルーム音や車外音に対する

遮音性が不十分になるという問題点も残されている。

(問題点を解決するための手段)

本考案はステアリングメインシャフトの径よりも大径の貫通孔を有するホールカバー本体と、同じくこのメインシャフトがステアリング操作に伴う軸芯回りの回転可能なシール性をもつて挿通される合成樹脂製のシール体と、前記メインシャフトに対して回転可能なシール性をもつて接触するように前記シール体に取り付けられたゴム製のシール部材とを備えている。そして、このシール体をホールカバー本体に対して上記の貫通孔を閉塞した状態で、この貫通孔の半径方向へ移動できるように組付けている。

(作用)

上記の構成によれば、ステアリングメインシャフトの組付け位置がその半径方向に偏位している場合、上記のシール体がホールカバー本体に対し、メインシャフトの偏位に応じてこれを吸収するように動作する。したがつて、この場合のホールカバー本体には全く変形が生じない。また、シール体とシール部材の双方がメインシャフトに対して常に安定した状態で接触するので、ホールカバーとメインシャフトとのあいだのシール性は十分かつ安定である。

(実施例)

次に、本考案の一実施例を第1図に基づいて説明する。

シール体1は合成樹脂で形成された環状の部材であり、この中心孔1aにはステアリングメインシャフトSが挿通される。また、このシール体1の外周面には、その全周にわたって環状フランジ4が一体状に形成されている。

シール部材2、2はゴム製の環状部材であり、シール体1の両側に環状フランジ4を挟んで対向状に嵌着されている。これらシール部材2、2の自由端縁(リップ部分)2a、2aの内径はステアリングメインシャフトSの外径よりも小さく設定されていて、シール体1とメインシャフトS外周とのシール機能を果している。

ホールカバー本体3は貫通孔6を有するカップ状の部材である。このホールカバー本体3における貫通孔6の内径は、シール部材2、2の外径よりも $2 \times f$ だけ大きく、環状フランジ4の外径よ

りも小さく設定されている。

また、上記貫通孔6の周縁部には、この貫通孔6に連通した環状溝5が全周にわたって形成されている。そして、この環状溝5にはシール体1の環状フランジ4が係合されている。なお、環状溝5の底面の直径(内径)は環状フランジ4の外径よりも $2 \times f'$ だけ大きく設定されている。なお、上記のf、f'はほぼ同寸法である。

さらに、上記環状溝5の溝幅は、環状フランジ4の厚さよりも若干大きく設定され、環状フランジ4がこの環状溝5に沿つて自在にスライドでき、かつ両者間のシール性が損われないようになつている。

次に、作用について説明する。まず、前記シール体1の中心孔1aに挿通されているステアリングメインシャフトSはステアリング操作によつて回動する。またシール体1とステアリングメインシャフトSとの間は、前述したようにシール部材2、2の自由端縁2a、2aがステアリングメインシャフトSの外周面に密着することで、シール性が保たれている。

さて、ステアリングメインシャフトSがその軸受部材等の寸法公差によつて半径方向(軸線に対して直角の方向)に偏位して組付けられた場合、ホールカバー本体3をダツシユバネル(図示しない)に組付ける際にシール体1の環状フランジ4がホールカバー本体3の環状溝5に沿つてメインシャフトSの偏位量に応じてスライドする。つまり、シール体1はホールカバー本体3に対してその貫通孔6を閉塞した状態でステアリングメインシャフトSの偏位を補償するように移動するのである。

上記のことからステアリングメインシャフトSの偏位量が許容範囲内(ステアリングメインシャフトSの正規の位置から半径方向への距離f、f'の範囲内)にある限り、その偏位に起因する負荷がステアリングメインシャフトSに加わることはない。従つて、ステアリングメインシャフトSとシール体1及びシール部材2、2との関係は、ステアリングメインシャフトSが正規の位置にある場合と同様な状態に保持される。この結果、ステアリング操作時におけるステアリングメインシャフトSとシール体1と間の摺動抵抗が増加することは避けられ、かつシール部材2、2とステア

リングメインシャフト S との間のシール性も適性に保持される。

(考案の効果)

本考案は、ステアリングメインシャフトの径よりも大径の貫通孔を有するホールカバー本体と、同じくこのメインシャフトがステアリング操作に伴う軸芯回りの回転可能なシール性をもつて挿通される合成樹脂製のシール体と、前記メインシャフトに対して回転可能なシール性をもつて接触するように前記シール体に取り付けられたゴム製のシール部材とを備え、このシール体をホールカバー本体に対して前記の貫通孔を閉塞した状態で、この貫通孔の半径方向へ移動できるように組付けたことにより、ステアリングメインシャフトがその半径方向に偏位して組付けられた場合でも、ホールカバー本体に対するシール体のスライドによってメインシャフトの偏位量を吸収できるだけでなくシール体とメインシャフトとのあいだのシール性が十分に向上されるとともに安定化される。

このため、ステアリングメインシャフトと接触部材との間の摺動抵抗は増加せず、操舵感覚や操縦安定性が良好になるとともに、ホールカバー本体とステアリングメインシャフトとの間のシール性も適性に維持される。さらに、本考案はステアリングメインシャフトの偏位の補償を上述したよう

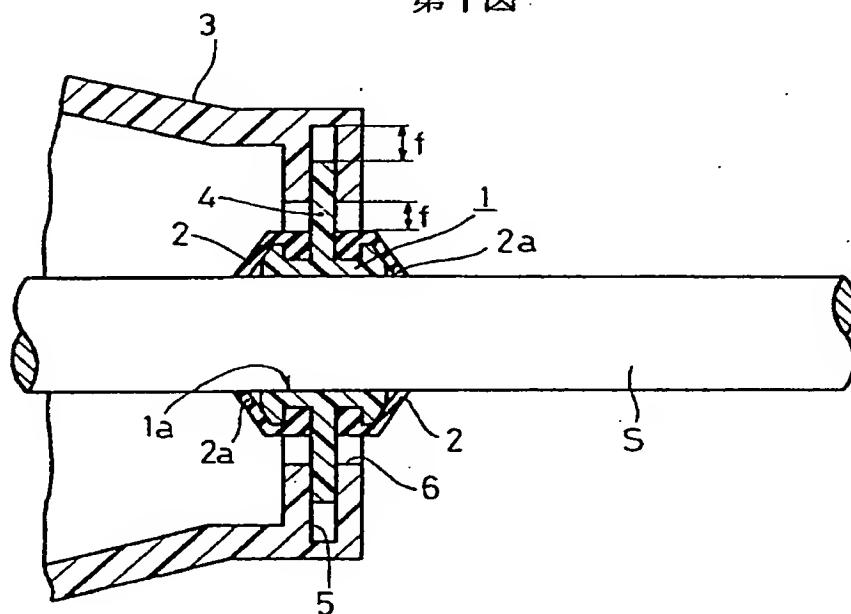
5 にホールカバー本体に対するシール体の相対移動によって行なつてているため、ホールカバー本体及びシール体の厚さをエンジンルーム音や車外音に10 対して所望の遮音効果を得る寸法に設定することができる。

図面の簡単な説明

第1図は本考案の実施例を示すステアリングコラムホールカバーの断面図である。第2図は従来のステアリングコラムホールカバーの断面図である。

1 ……シール体、3 ……ホールカバー本体、6 ……貫通孔、S ……ステアリングメインシャフト。

第1図



1 ……シール体  
3 ……ホールカバー本体  
6 ……貫通孔  
S ……ステアリングメインシャフト

第2図

